第 6 回認知神経リハビリテーションセミナー（京都）

テ　ー　マ　　摂食･嚥下障害と顔面神経麻痺に対する認知神経リハビリテーションの理論と実際

開催概要　　口腔器官および顔面は人間を特徴付ける機能を有し、その他の身体部位との関係においても多くの行為が創発される器官である本セミナーでは，人間の口腔･顔面周囲の神経学的特徴を整理し，認知神経学的病態解釈を通した症例の呈示および訓練の実際を学ぶ機会とする．さらに摂食･嚥下障害，顔面神経麻痺に対する行為間比較を含んだ訓練の検討を行う．

日　　程　　平成 27 年 7 月 4 日（土）
会　　場　　ハートピア京都　大会場（京都市中京区清水町３７５）

2015 年 7 月 4 日（土）

09:30～10:00　受付，事務連絡
10:00～11:00　講義１：摂食・嚥下障害に対する認知神経理論
～行為としての摂食嚥下機能～
担当：本田

11:10～12:10　講義２：ヒトにおける口腔･顔面周囲の神経･解剖学的特異性
～錐体路制御とヒトたらしめる特徴の抽出～
担当：園田

12:10～13:00　休憩（昼食）
13:00～14:30　講義３：摂食・嚥下障害に対する認知神経リハビリテーション
～複数の症例提示による介入のポイントと難点～
担当：本田

14:40～16:10　講義４：顔面神経麻痺に対する認知神経リハビリテーション
～表情と情動と他の身体部位との関係を考慮した行為間比較～
担当：園田

16:10～　　質疑
16:30　　終了

18:00～　　懇親会